

政 策 7

～市立病院として高度で良質な医療を提供します～

後期基本計画における「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

松戸市立病院は、東葛北部地域の中核病院として高度で良質な医療を提供するとともに、地域の病院・診療所・福祉施設、福祉サービス、NPO・ボランティア及び行政と連携、協力し合い、患者さんのより早い社会復帰・在宅復帰を実現します。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
患者満足度	—	—	—	—	60%台	60%台
	—	—	53.2%	54.8%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

平成25年度で目指す60%台の顧客満足度の維持をめざす。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
平均在院日数	—	—	—	—	13日	11.5日
	18.3日	14.6日	12.9日	13.0日		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

公立病院改革プランによるシュミレーションにより設定し、11.5日をめざす。(年度評価による見直しがある)

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
紹介・逆紹介率	—	—	—	—	紹介60% 逆紹介30%	紹介60% 逆紹介30%
	—	—	紹介48.3% 逆紹介33.0%	紹介53.1% 逆紹介49.9%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

地域医療支援病院承認要件である紹介率60%、逆紹介率30%以上維持をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
一般病床利用率	—	—	—	—	90%	90%
	88.9%	81.1%	82.1%	81.9%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

市立病院経営において、損益分岐点を超えるためには、本指標が90~92%以上になっている必要がある。また、急性期病院として常に10%程度の余裕ベッドを確保しておく必要があるため90%をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
年間手術件数	—	—	—	—	4,550件	4,550件
	5,167件	4,552件	4,035件	3,969件		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

年間手術件数は約4,000~4,500件で推移している。手術室稼働率やコスト削減のための改善の取り組みと併せ、現行の病院機能の受け入れ可能数として最大値であるH16年度の4,550件をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
経常収支比率	—	—	—	—	100%	100%
	101.6%	98.6%	100.1%	102.1%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

繰入金が増減が医業収益と連動するため、政策医療分の繰入金を含めた経営視点から、経常収支比率100%をめざす。

政策7

市立病院として高度で良質な医療を提供します

1. 地域の中核的な病院としての機能を充実します

1. 現況と課題

急性期対応型の国保松戸市立病院は、昭和25年の開設以来、救命救急センター・第二種感染症指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院として指定を受けるほか、小児科・小児外科・小児心臓血管外科・新生児科からなる小児医療センターを設立し小児医療に力を傾注する等、東葛北部地域の中核的な病院として高度で良質な医療提供に努めてきました。また、慢性期対応型の松戸市立福祉医療センター東松戸病院・介護老人保健施設梨香苑は、今後の高齢化社会に備えた「保健・医療・福祉」の連携した包括的医療の拠点として、平成5年に開設され、「在宅ケア支援機能」と「地域医療における補完機能」の二つの機能を持っています。

しかしながら、施設や設備の老朽化・狭隘化・耐震性の問題、医師・看護師不足等の人員体制の問題、こうした問題も含め目まぐるしく変化する医療環境から、これまでどおり安定した経営のもとで良質な医療を継続して提供して行くことが難しくなっています。

【特筆すべきニーズの変化】

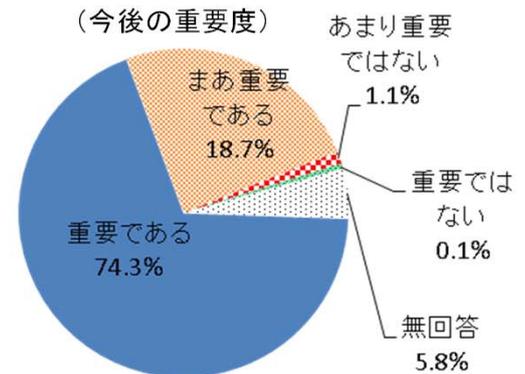
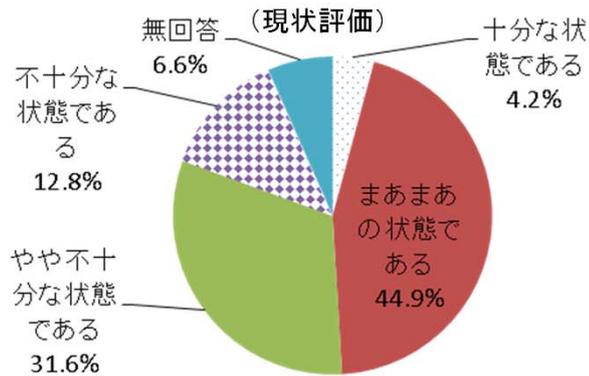
- ・救命救急や小児・周産期医療の提供が求められています（ニーズの増）

●各施設の概要(H23.4)

	開設	診療科目	病床数	特色
市立病院	昭和25年 11月25日	内科(血液内科)・外科・小児科・産婦人科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・リハビリテーション科・放射線科・脳神経外科・皮膚科・神経内科・循環器内科・麻酔科・小児外科(新生児科)・心臓血管外科・消化器内科・形成外科・精神科・呼吸器外科(救命救急センター)・(総合診療科)・(小児心臓血管外科)・(化学療法内科)・(呼吸器内科)・(緩和ケア科)	総数613床(一般病床605床、感染症病床8床)	○臨床研修指定病院 ○臨床修練指定病院 ○地域医療研修センター ○各学会認定研修病院 ○災害拠点病院 ○臓器提供施設 ○地域がん診療連携拠点病院
東松戸病院	平成5年 10月1日	内科・呼吸器内科・神経内科・精神科・外科・整形外科・リハビリテーション科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科	総病床数198床(実稼働数178床)	
梨香苑				定員 入所50人 通所10人

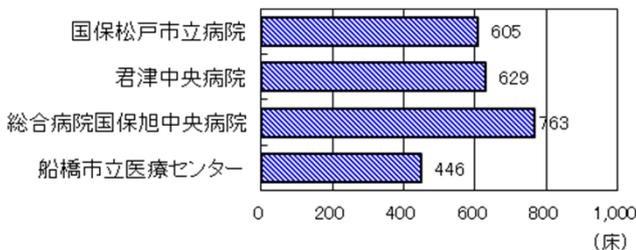
●救命救急医療や小児医療などの充実

出典：各施設のホームページ

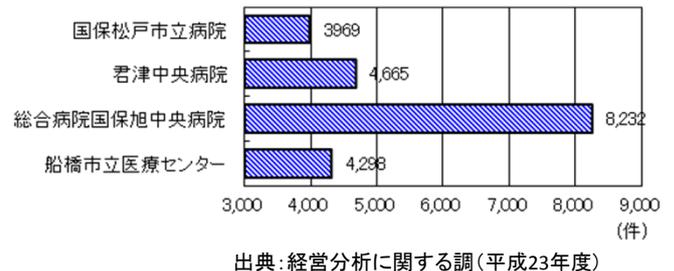


出典：総合計画第3次実施計画づくりのための市民ニーズ調査 報告書(平成21年3月)

●一般病床数



●手術件数



2. 施策の展開方向

国保松戸市立病院は、施設の老朽化や狭隘化により快適性や利便性に問題が生じている上、耐震性にも劣るため、将来にわたり安定して医療を提供ができる施設・設備をできるだけ早期に整備していきます。また、整備にあたっては、現在の市立病院が地域の中で担っている救急、小児・周産期にかかわる医療の拠点病院としての基盤をさらに充実します。

3. 施策を推進していく上での課題

国保松戸市立病院は、地域全体で支える医療体制「地域循環型医療連携」を目指しています。そのためには、医療の機能分化を進めていくことが求められ、地域医療の質の向上が必要になっています。また、当院が東葛飾北部地域の中核病院として高度で良質な医療を提供し続けるために、早急に施設・設備の整備が必要になっています。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 第3次救急救命センターの指定を受け、東葛地区の拠点病院となっています（強み）
- ② 小児医療センターが設置され、スタッフ・施設・設備が充実しています（強み）

●市立病院基本方針

平成21年1月1日改定

- 1.患者さんの権利を尊重し、安全かつ良質な医療ケアを提供します。
- 2.小児医療、救命救急医療などを含めた急性期総合病院として、質の高い量を提供します。
- 3.地域の医療機関と連携し、地域完結型医療の中心的病院を目指します。
- 4.職員が誇りと生きがいを持てる職場を作り、チーム医療を行います。
- 5.臨床教育病院として医療人の育成に力を注ぎます。
- 6.公立病院として自立した経営基盤を構築します。

●福祉医療センター指針

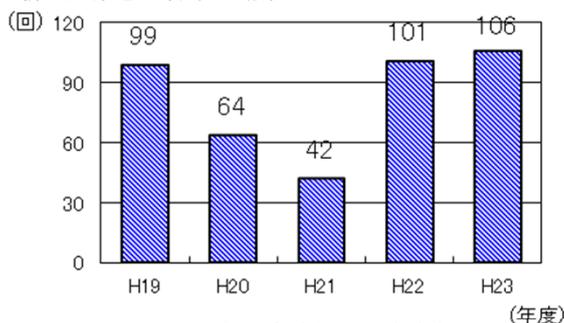
- 1.私達は、生命の尊重と人間愛を基本に、患者中心の医療をおこないます。
- 2.私達は、保健や福祉を包括した高齢者医療を提供します
- 3.私達は、医療水準とサービスの向上に努めます。
- 4.私達は、他の施設等と連携し、その機能を地域医療の中で生かします。
- 5.私達は、地域の皆様のために開かれた医療を実践します。

●小児医療センター(特色)

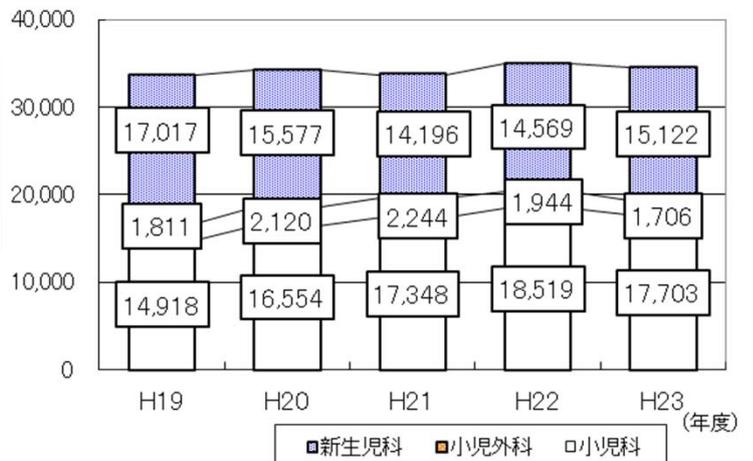
小児用無菌病床2床
院内学校「ひまらや学級」
新生児緊急収容車所有
NICU(新生児集中治療室) 12床
小児科・小児外科重症室 11床



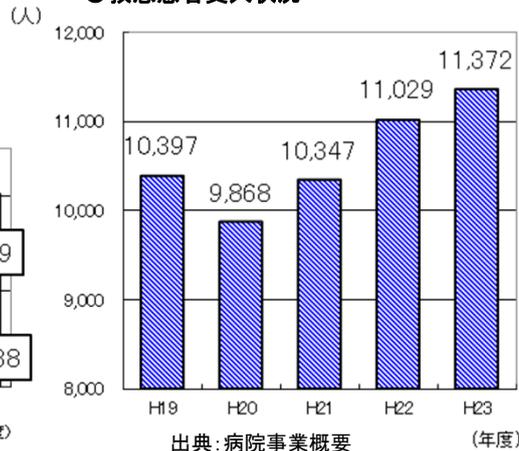
●新生児緊急収容車出勤数



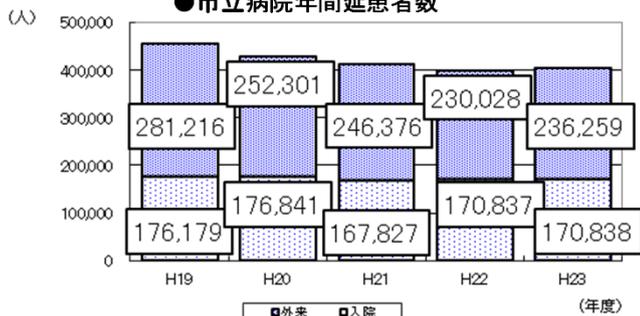
●小児医療センター入院患者数



●救急患者受入状況



●市立病院年間延患者数



政策7

市立病院として高度で良質な医療を提供する

2.患者主体の医療を推進します

1. 現況と課題(再掲)

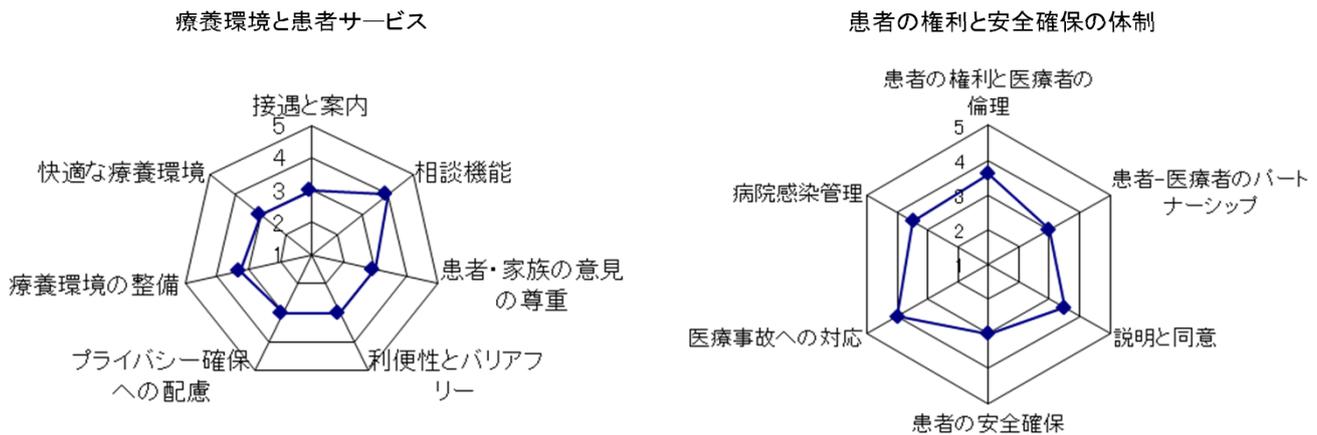
急性期対応型の国保松戸市立病院は、昭和25年の開設以来、救命救急センター・第二種感染症指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院として指定を受けるほか、小児科・小児外科・小児心臓血管外科・新生児科からなる小児医療センターを設立し小児医療に力を傾注する等、東葛北部地域の中核的な病院として高度で良質な医療提供に努めてきました。

また、慢性期対応型の松戸市立福祉医療センター東松戸病院・介護老人保健施設梨香苑は、今後の高齢化社会に備えた「保健・医療・福祉」の連携した包括的医療の拠点として、平成5年に開設され、「在宅ケア支援機能」と「地域医療における補完機能」の二つの機能を持っています。しかしながら、施設や設備の老朽化・狭隘化・耐震性の問題、医師・看護師不足等の人員体制の問題、こうした問題も含め目まぐるしく変化する医療環境から、これまでどおり安定した経営のもとで良質な医療を継続して提供して行くことが難しくなっています。

【特筆すべきニーズの変化】

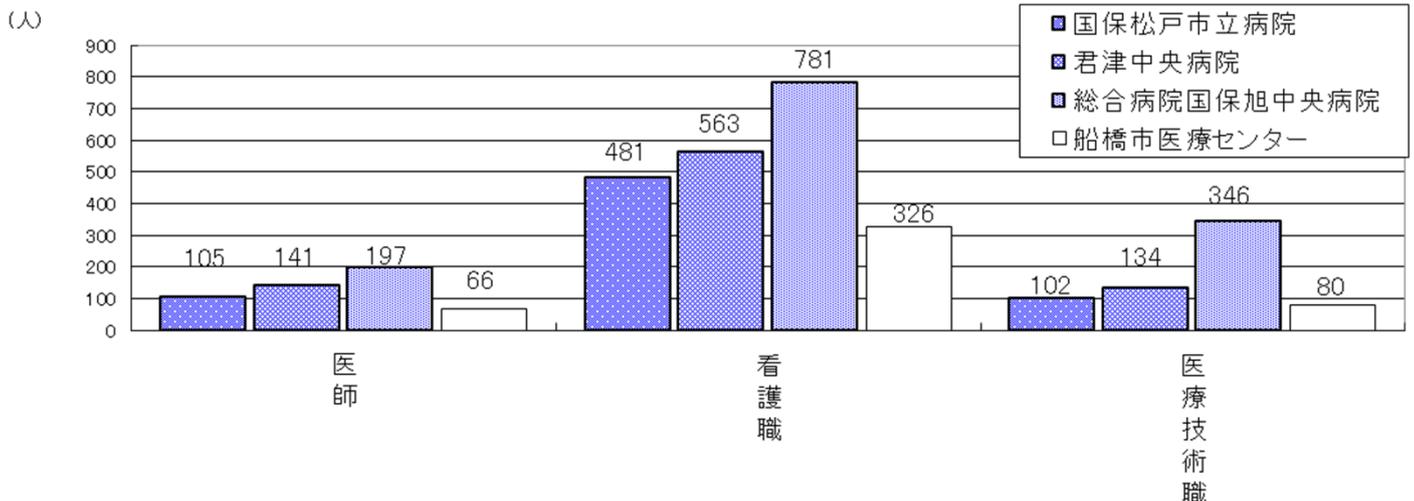
- ① 施設・設備の充実など、安心して医療を受けられる環境が望まれています (ニーズの増)
- ② 適切な医療スタッフに囲まれて医療を受けられることが望まれています (ニーズの増)

●病院機能評価結果(平成20年実施)



出典：(公財)日本医療機能評価機構

●職員数比較 (H21.9)



出典：全国自治体病院協議会

2. 施策の展開方向

患者さん本位で良質かつ安心、安全な急性期医療を提供し、すべての人から「ここに来てよかった」と思われる病院をめざします。また、そのために必要な医療機器、医療体制を改善することはもとより、プライバシーやバリアフリーにも十分に配慮した療養環境を整備し、患者さんに快適な環境でさらに質の高い医療を提供します。

3. 施策を推進していく上での課題

医師・看護師不足等の問題は、当院だけではなく全国的な問題ですが、良質かつ安心、安全な医療を提供し続けるためには、必要な人材を確保することが必要になっています。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

・地域のがん医療に積極的に取り組んでいます（強み）

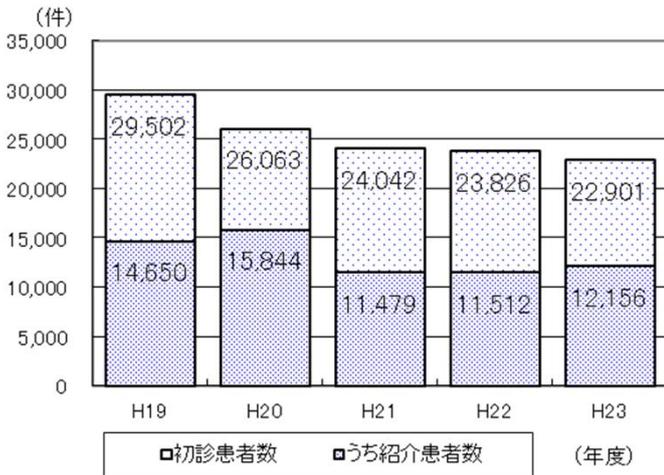
●医療機器の導入

64chマルチスライスCT



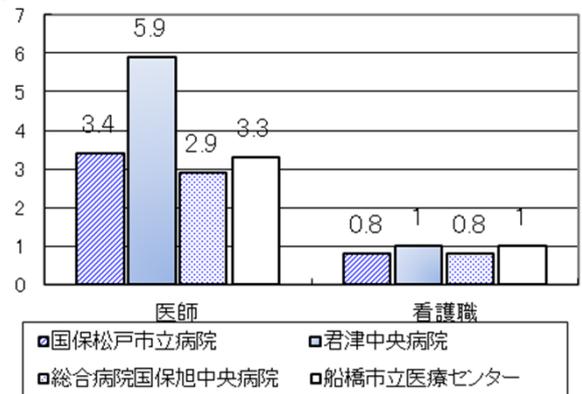
従来のCT検査では20～30秒の息止めが必要でしたが、約5秒で撮影可能です。

●他医療機関からの紹介件数(市立病院)



出典：病院事業概要

(人) ●1人あたり入院患者数

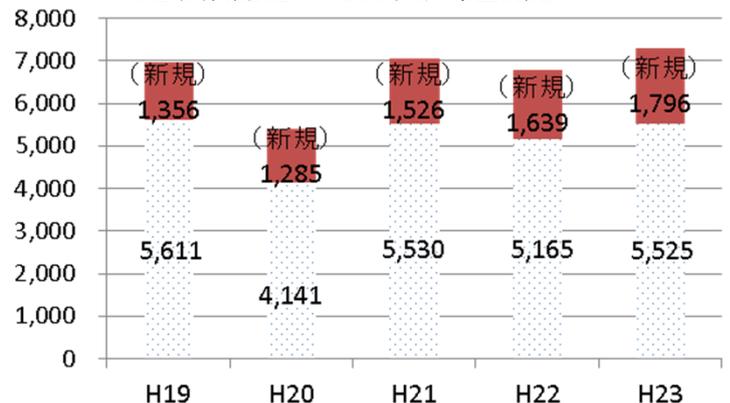


出典：地方公営企業年鑑(22年度)

●地域がん診療連携拠点病院(市立病院)



●患者様相談窓口の受案件数(市立病院)



出典：病院事業概要

政策7

市立病院として高度で良質な医療を提供する

3.病院経営基盤の充実を図ります

1. 現況と課題(再掲)

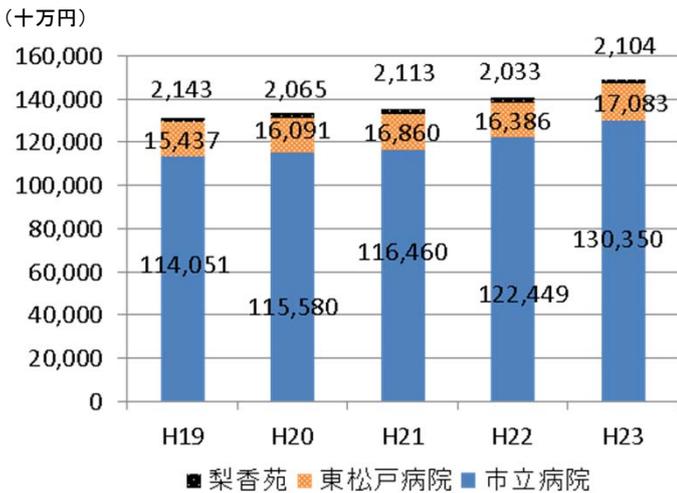
急性期対応型の国保松戸市立病院は、昭和25年の開設以来、救命救急センター・第二種感染症指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院として指定を受けるほか、小児科・小児外科・小児心臓血管外科・新生児科からなる小児医療センターを設立し小児医療に力を傾注する等、東葛北部地域の中核的な病院として高度で良質な医療提供に努めてきました。また、慢性期対応型の松戸市立福祉医療センター東松戸病院・介護老人保健施設梨香苑は、今後の高齢化社会に備えた「保健・医療・福祉」の連携した包括的医療の拠点として、平成5年に開設され、「在宅ケア支援機能」と「地域医療における補完機能」の二つの機能を持っています。

しかしながら、施設や設備の老朽化・狭隘化・耐震性の問題、医師・看護師不足等の人員体制の問題、こうした問題も含め目まぐるしく変化する医療環境から、これまでどおり安定した経営のもとで良質な医療を継続して提供して行くことが難しくなっています。

【特筆すべきニーズの変化】

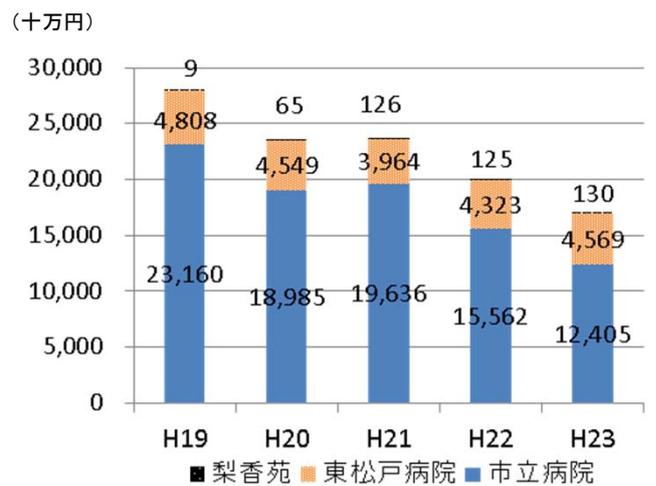
- ① 一般財源から病院会計への繰出金が市の財政負担となっており、経営改善による病院事業の自立が望まれています (ニーズの増)
- ② 地域医療との連携や役割分担など、公立病院としての機能を再検討することが望まれています (ニーズの増)

● 医業(施設事業)収益



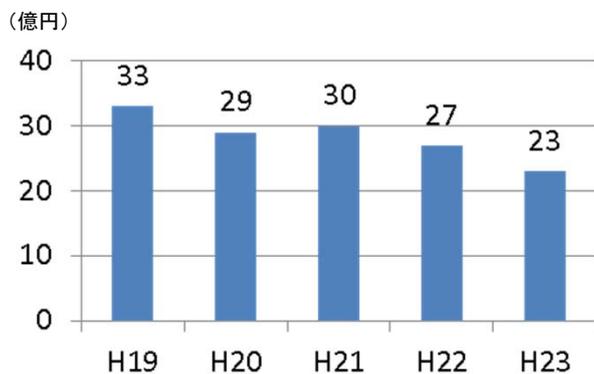
出典:病院事業概要

● 医業(施設事業)外収益 (一般会計からの繰出金を含む)



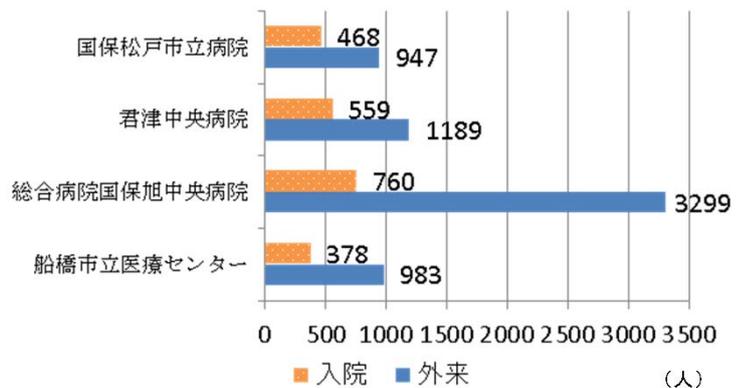
出典:病院事業概要

● 一般会計からの繰出金(病院事業)



出典:決算資料

● 1日平均患者数



出典:地方公営企業年鑑(22年度)

2. 施策の展開方向

平成21年3月に「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」の視点から策定した「松戸市立病院改革プラン」及び「松戸市立福祉医療センター東松戸病院改革プラン」に基づき、経営改善を推進します。

なお、経営改善の進捗状況については、継続的に検証を行い必要な改善に取り組みます。

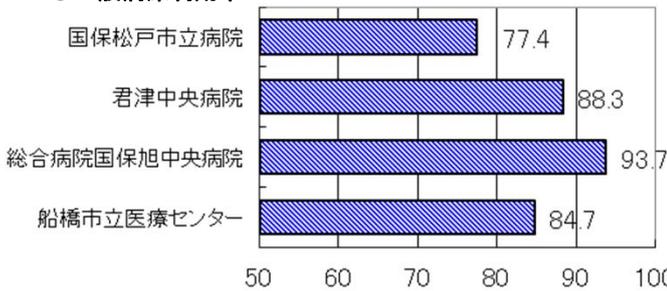
3. 施策を推進していく上での課題

自治体病院のため効率の低い政策医療を提供しているため、収支を悪化させやすい業務もありますが、両病院の求められる役割を果たしつつ、継続して経営改善に取り組むことが必要になっています。そのためには経営基盤の強化が必要になっています。

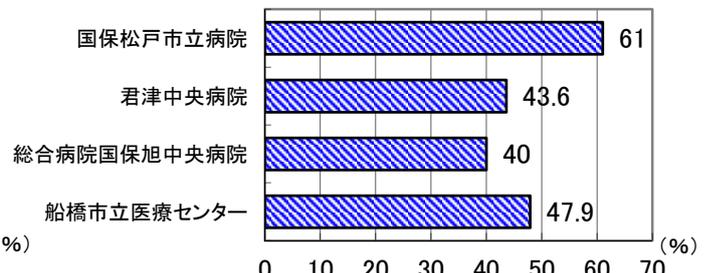
【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 効率の低い政策医療を提供しているため、収支を悪化させやすい部門を抱えています（弱み）
- ② 他の同規模の自治体病院と比較して、病床利用率が低く職員給与比率が高くなっています（弱み）

●一般病床利用率

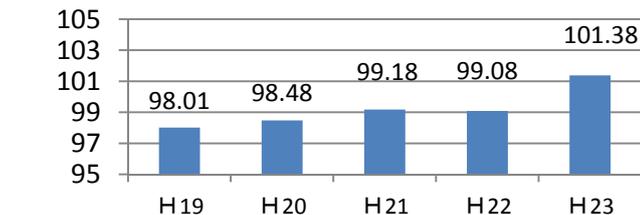


●医業収益に対する職員給与費比率

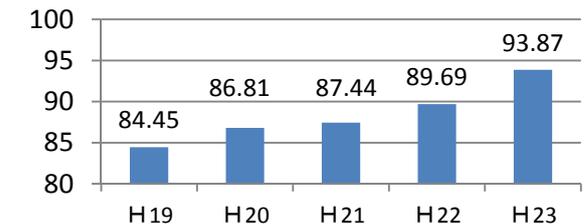


出典：地方公営企業年鑑(22年度)

●経常収支比率(病院事業)

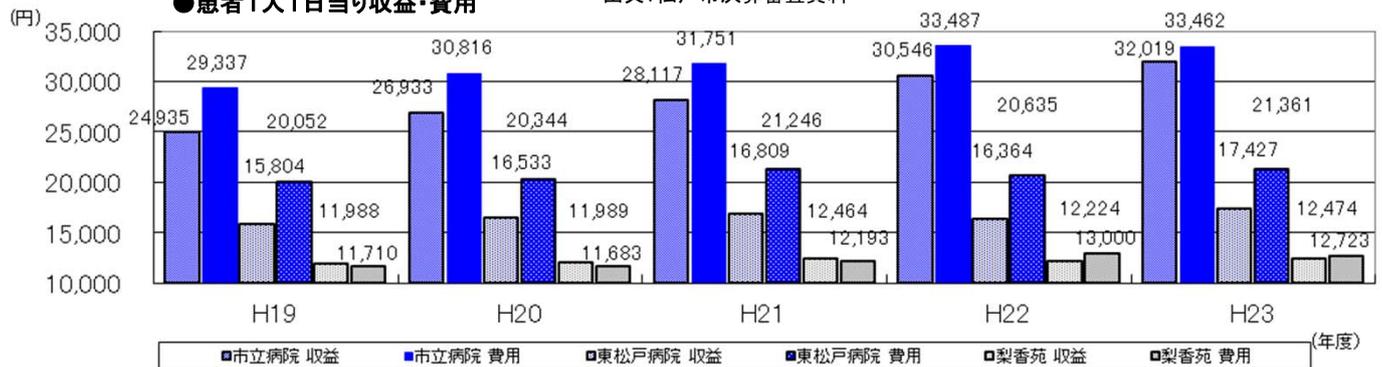


●医業収支比率(病院事業)



●患者1人1日当り収益・費用

出典：松戸市決算審査資料



出典：病院事業概要

●主な経営指標にかかる全国平均値の状況：平成18年度

	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率		
						計	うち一般	うち療養
500床以上民間病院平均	101.4%	101.6%	48.0%	27.4%	15.5%	84.7%		
500床以上公立病院(自治体以外)平均	99.8%	100.1%	48.6%	31.8%	21.0%	80.9%		
500床以上公立病院(黒字病院)平均	102.2%	97.5%	48.7%	30.1%	16.2%	87.3%	89.2%	93.1%
500床以上公立病院(上位1/2)平均	99.8%	94.4%	50.5%	29.9%	15.1%	86.2%	87.8%	90.7%
500床以上公立病院(一般病院全体)平均	97.4%	92.6%	51.5%	29.8%	14.9%	84.8%	86.6%	76.8%
市立病院	97.8%	87.4%	64.6%	23.6%	9.5%	83.9%	85.0%	83.9%

出典：全国平均は、「公立病院改革ガイドライン」、市立病院は、「地方公営企業決算の状況」

